

Bosch Tech Compass 2023: 回答者の多くがテクノロジーは気候変動との戦いに不可欠であると認識 ボッシュの調査: ドイツでは 63% が太陽光発電を支持

2023 年 1 月 4 日
PI 11588 RB Cwi/af

- ▶ シュテファン・ハルトウング: 「人々は、企業が気候変動への取り組みに貢献することを期待しています」
- ▶ クライメートアクションと経済: 回答者の 5 人中 4 人が持続可能性を経済的な成功要因と認識
- ▶ テクノロジーへの信頼増加: 回答者の 75% は、技術の進歩によって世界がより良い場所になると期待
- ▶ 仮想世界での生活: 回答者の 43% は、メタバースで車を購入することを想像

シュトゥットガルト(ドイツ) / ラスベガス(ネバダ州、米国) – エネルギー危機と気候変動: 人類が、持続可能で手頃な価格のエネルギー需要をどのように満たすことができるかは、誰もが関心を持つ重大な問いです。このことは、世界 7 カ国で実施した調査である「Bosch Tech Compass 2023」によって明らかとなっています。この調査結果は、ラスベガスで開催される CES (2023 年 1 月 5 日～8 日) で発表されます。

持続可能なテクノロジーと経済的成功

回答者は、持続可能なソリューションと製品の経済的可能性についておおむね同意しています。82% の回答者は、企業が持続可能なテクノロジーに取り組むほど、将来、経済的により成功するだろうと考えています。この考えは、ブラジルとインドでそれぞれ 87% と最も高く、最も低い米国でも 73% という結果でした。実業界のクライメートアクションへの取り組みに関しては、まだ改善の余地があることを調査結果は示唆しています。半数以上 (58%) は、現在持続可能性に真剣に取り組んでいる企業はごく少数であると考えています。「気候変動との戦いは現代の最大の課題です。そのため人々が企業に対して、こうした問題へ技術的ソリューションを提供することを期待するのは当然です。ボッシュはこの課題に取り組んでおり、水素電解装置などの有望なテクノロジーに全力を注いでいます」と、ロバート・ボッシュ GmbH 取締役会会長のシュテファン・ハルトウングは述べています。

さまざまなテクノロジーで気候変動に対応

世界の多くの地域で再生可能エネルギーへの移行が進んでいますが、人々は依然として発電用の原子力、ガスや石油などの化石燃料を完全に放棄することに抵抗があります。62%が太陽光発電の促進に賛成であり、44%が風力発電技術を促進する取り組みに期待しています。ただし、これらの意見は国によって異なります。中国(36%)やフランス(31%)では、依然として原子力発電技術の促進が比較的強く支持されています(世界全体平均 23%)。米国(石油:21%、ガス:24%)とインド(石油:22%、ガス:23%)では、石油とガスを燃料とする技術への支持が他の国よりもかなり高い結果となりました(世界全体平均:石油:14%、ガス:15%)。対照的にドイツでは、原子力(13%)と化石燃料(石油:4%、ガス:8%)を望む声が極めて少なく、多くが化石エネルギーを否定し、太陽光発電と風力発電(太陽光:63%、風力:50%)に加え、水素(51%)の普及を支持しています。

テクノロジーへの信頼が増加

今回の調査では、不確実性に悩まされている世の中において、テクノロジーへの信頼が前年よりも高まっていることが分かりました。回答者全体の75%が、テクノロジーの進歩が世界をより良い場所にすることができると考えています(2022年:72%*)。さらに83%は、テクノロジーが気候変動に対応するうえでの鍵を握ると考えています(2022年:76%*)。「デジタルイノベーションは持続可能性において特別な役割を果たすことができます」とハルトウングは語り、「私たちは持続可能性、モビリティ、インダストリー4.0に焦点を当てた、有望な新しいテクノロジーの開発と拡大に投資しています」と続けました。

メタバースにおけるモビリティ

今回の調査結果は、メタバースなど持続可能性以外の問題についても、興味深い知見を提供しています。現実をモデルにした3次元空間で人々がアバターとして交流するこの仮想世界では、モビリティも役割を果たします。43%の人はメタバースで車を購入することを想像しています。特に中国(75%)とインド(69%)では、その関心と意欲が高くなっています。ブラジル(47%)、米国(33%)、イギリス(30%)、ドイツ(26%)、フランス(23%)ではいまだやや懐疑的ですが、こうした数字は自動車に対する欲求が現実世界だけでなく仮想現実にも存在することを示しています。

調査について:

この調査は7カ国(ブラジル、中国、ドイツ、フランス、インド、英国、米国)の18歳以上を対象に、ロバート・ボッシュ GmbH の委託により市場調査会社の Gesellschaft für Innovative Marktforschung mbH (GIM) 実施したものです。

調査時期: 2022年9月

調査対象国/人数: ドイツ・フランス・英国各1,000人、ブラジル・中国・インド・米国各2,000人

調査対象者: ブラジル・ドイツ・フランス・英国・米国18~69歳、中国・インド18~59歳

※本調査は各国の地域、性別、年齢など、それぞれの国を代表するサンプルを対象としたサンプル調査です

*調査結果をより分かりやすくするために、2023年の7カ国での調査に基づく世界平均値と2022年の5カ国（中国・ドイツ・インド・英国・米国）での調査に基づく世界平均値を比較しています。2023年の世界平均値の算出基準として、2022年の調査と同じ5カ国の数値を用いた場合も同様の結果が得られました。

【CES 2023 プレスカンファレンスについて】

日時:	2023年1月4日(水)8:00~8:45 a.m.(太平洋標準時)
場所:	Ballroom F、Mandalay Bay Hotel、 Las Vegas South Convention Center、Level 2
配信:	ポッシュメディア サービス でライブ配信

【ポッシュブースのご案内】

出展期間:	2023年1月5日(木)~8日(日)
出展場所:	Central Hall、ブース#16115

【体験ブースのご案内】

出展期間:	2023年1月5日(木)~8日(日)
出展場所:	LVCC、Central Hall、Central Plaza
出展内容:	ライブドライビングエクスペリエンス: デジタルコックピットテクノロジーおよび先進運転支援システムドメインの融合

CES 2023 におけるポッシュのハイライトを Twitter でご紹介: [#BoschCES](#)

【パネルディスカッションのご案内】

日時:	2023年1月5日(木)10:00 a.m. (太平洋標準時)
出展場所:	Las Vegas Convention Center West / W216-218
内容:	「AI を搭載したロボットによる産業変革」 ポッシュの AI チーフサイエンティスト Zico Kolter とのセッション

報道用画像: [#b4fe0621](#), [#1cdb766c](#), [#0feec084](#), [#e55f8104](#), [#11786c40](#),
[#a1c0a37f](#), [#c4df70f1](#), [#6430bf52](#), [#35fe6d2d](#), [#726db91f](#), [#ab8970f7](#),
[#ac3539c1](#)

報道関係対応窓口:

Inga Ehret

電話: +49 711 811-16476

Twitter: [@BoschPress](#)

世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2021年の従業員数は約40万2,600人(2021年12月31日現在)、売上高は787億ユーロ(約10.2兆円*)を計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュはIoTテクノロジーのリーディングプロバイダーとして、スマートホーム、インダストリー4.0さらにコネクテッドモビリティに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュは、サステナブル、安全かつ魅力的なモビリティを追求しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループは、AI(人工知能)を搭載する、もしくはAIが開発・製造に関わった製品を提供することで、コネクテッドライフを円滑にすることを戦略目標に掲げています。ボッシュは、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」-人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社440社、世界約60カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売/サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュは2020年第一四半期に、世界400超の拠点でカーボンニュートラルを達成しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界128の拠点で約7万6,100人の従業員が研究開発に、そのうち約3.8万人がソフトウェアエンジニアリングに携わっています。

ボッシュの起源は、1886年にロバート・ボッシュ(1861~1942年)がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbH の独自の株主構造は、ボッシュ・グループの企業としての自立性を保証するものであり、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュ GmbH の株式資本の94%は慈善団体であるロバート・ボッシュ財団が保有しており、残りの株式はロバート・ボッシュ GmbH および創業家であるボッシュ家が所有する法人が保有しています。議決権の大半はロバート・ボッシュ工業信託合資会社が保有し、株主の事業機能を担っています。

*2021年の為替平均レート、1ユーロ=129.8855円で計算

さらに詳しい情報は以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト(英語)

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス(英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア公式ツイッター(ドイツ語)

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン公式ウェブサイト(日本語)

<https://twitter.com/BoschJapan> ボッシュ・ジャパン公式ツイッター(日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン公式フェイスブック(日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン公式YouTube(日本語)